



東 俣 野 4月号

東俣野小学校 学校だより 平成29年4月5日

心を育てる

校 長 村田 幹男

色とりどりの花が咲きそろい、桜の花びらの舞う美しい季節となりました。

本日、かわいらしい新1年生たちが入学しました。また、新たに数名の転入生を迎え、いよいよ平成29年度、東俣野小学校の教育活動が始まりです。

まず、新1年生の保護者の皆様、お子様の入学おめでとうございます。学校生活の出発にあたり、お子様の健やかな成長に大きな期待を抱いておられることと思います。子どもたちにとっても、初めての学校生活、不安と緊張の中にも喜びで胸がふくらんでいることでしょう。早く学校生活に慣れ、毎日の学校生活が喜びと楽しさにあふれたものであってほしいと願っています。

また、進級した子どもたちの保護者の皆様、おめでとうございます。この新学期を期待感と希望をもって迎えたことと思います。私たち教職員一同、それぞれの子どもたちの思いに寄り添い、期待の応えるべき、全力を傾ける所存であります。

先月、69名の卒業生が巣立っていきました。卒業式当日の彼らの姿は立派でした。例年同様、何回か卒業式練習をしてきましたが、練習していくうちに、彼らの気持ちが変化していった様子を感じられました。小学校卒業という大事な「節目」をよきものにしたいと、私たち教職員も真剣でした。「かたち」を指導するのではなく「心」をゆさぶるために、一回一回の練習で何をどう伝えるかなど話し合ってきました。練習には、6年担任だけでなく、多くの教職員がかかわりました。在校生代表の4、5年生たちも6年生のために練習をがんばりました。式には出られない1、2、3年生の子どもたちも、「6年生ありがとうの会」などで、お世話になった6年生へ温かいメッセージを送ってきました。卒業式当日の「お別れ朝会」の最後には、東俣野特別支援学校の先生方が、昇降口前で、温かく6年生を見送ってくださいました。これらのことが6年生の心に響き、子どもたちの気持ちが高まっていったのだと思います。まわりの人たちの熱い思いをしっかりと受け止めた結果が当日の卒業生の姿に表れていました。

やはり教育は心を育てる営みです。多くの方がかわりサポートして下さることが肝心です。本校では、PTA委員、図書ボランティア、クラブボランティアといった保護者ボランティアの方々、安全サポートの方々、敬友会、風の会の方々など、多くの保護者・地域の方々に多大なるサポートをしていただいています。大変ありがたいことです。改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご支援の程をお願い申し上げます。また、各ご家庭におかれましても、お子さんが安心してプラス思考で毎日登校できるように、見守ってあげてください。そして、学校と家庭が密に連絡をとりあって、ともにお子さんの心の成長を支援していきたいと思っております。

今年度も本校の教育活動にご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。